

# テレビ学校放送の効果に関する調査研究

— テレビ学習構造の検討 —

讃 岐 幸 治

## 1. 問題の所在

テレビの教育的意義については、従来さまざまなアプローチがなされてきた。その研究成果もそれぞれ大いにあったといえよう。しかし、これらの従来の研究には、少なくともつぎの2つの偏りないしは問題点があったのではなからうか。

第1には、従来の研究は学校と家庭・社会の2つの領域におけるテレビ学習の構造や成果を統一的に把えていたとはいえないということである。もっといえば、テレビの教育的意味や成果を考える時に、これまで研究者にも実践家にも、①学校の計画的教育の次元と、②家庭や社会の自然発生的影響の次元とを、相即不離に把える全体観がじゅうぶんに用意されていたとはいえないということである。ここから、「学校放送」の実践の孤立化と絶対化が生まれ、その結果家庭でのテレビ視聴との関連はもとより、学校教育の他の領域との関連も見失われることになったのではなからうか。これが、従来の研究の第1の偏りないし問題点である。

第2の従来の研究の偏りないし問題点は、とくに学校教育に限った時、テレビの学習効果を狭いそして直接的な効果に限定して論じる傾向があったということである。1定時に1定のテレビ番組を視聴させることによって、それに対する学習効果がどの程度あったかを検討することのみに主力が注がれてきた。しかし、テレビ番組視聴を利用した採業を、継続的であれ断片的であれ、学校教育に取り入れることに、どのような効果があるか。これを考察するには、①従来のような1つの限定された対象に関する情報量の豊かさやそれに対する興味を増大といった具体的な次元だけに限らないで、②人間の能力や意欲や態度といった、もっと高次の一般的な次元でも把える必要があるのではなからうか。

われわれは、こうした基本的な考え方から「テレビ学習の構造」を全体的、総合的に再検討することにした。すなわち、テレビ視聴といった意図的な一連の学習が、どのような効果を、とくに認識能力や学習態度にもたらすかを考察することにしたのである。(注)

本論では、こうした考え方にもとづいて行なった一連の提案と実証的データのなかから「テレビ学校放送の効果」に関する調査結果のみを考察することにする。

## 2. 仮説と分析の視点

上記の考え方から、つぎのような仮説と分析視点を定め、「テレビ学校放送の効果」に関する調査を行なった。

A 学校でテレビ学習の経験のある生徒(とくに継続視聴者)は、そうではない生徒にくらべて、テレビに対する接触行動や意識や映像認識能力の面で、なんらかの違いがあるはずである。まず、行動の面では、どんな違いがあるだろうか。ここでは、家庭でのテレビ視聴

量および番組の内容面からみた視聴傾向を明らかにする。

仮説としては、テレビ学習の経験者の方が、そうでない生徒よりも、学校文化型にはいる番組（教養番組的なもの）をより多く視聴するのではなからうかと予想される。

方法としては、放送内容の各領域を代表する番組を30あげ、視聴傾向のパターンをおさえようとした。

B テレビに対する意識には基本的には2つのタイプがあると、われわれは想定した。1つはテレビ番組を主として気分的（情緒的）にみているタイプの者（気分視聴型）、もう1つは知的な活動を発展させるような見方をしている者（知的視聴型）である。気分的因子と知的因子とが強くはたらいっているかどうかによって、第1図のように、4つのタイプに分類することができる。学校でのテレビ学習は、家庭での一般番組の視聴態度においても知的な活動に発展するような見方を期待しているはずだ

第一図 気分的因子

から、テレビ学習経験者に知的視聴型が相対的に多いと仮定される。

この点を明らかにする方法として、リカッパ法および因子分析法を用いた。

知的因子	+	-	+	+
	知的視聴型		総合型	
	-	-	-	+
	無関心型		気分視聴型	

### 3. 手 続 き

- (1) 質問紙法
- (2) 調査日時 昭和44年9月
- (3) 調査対象

広島、京都、大阪、大津の各地域から2～3中学校を選出し、各中学校毎に各学年2クラスずつの6クラスをアトランダムに選出し、それらを調査対象とした。調査対象数の内訳はつぎの通りである。

{ 広島市 A 中学校 237名 " B 中学校 242名	{ 京都市 C 中学校 256名 " D 中学校 170名 " E 中学校 250名		
		大阪・豊中市 F 中学校 250名	{ 大津市 H 中学校 240名
		大阪・東大阪市 G 中学校 227名	{ " I 中学校 288名
計 2,160名			

### 4. 分 析 対 象

調査対象2,160名のうち、ここで直接分析の対象とするのは、494名である。それは小学校および中学校での教室におけるテレビ学習の経験の有無によって選出した。その際、教室でのテレビ学習の経験なし（×群）と判定した基準は、小学校の場合、経験皆無、経験はあるが月1回程度、2週間に1回程度のテレビ学習の経験はあっても1科目だけの場合、また小学校3年以下の段階でのみ経験あったもの。これらは、経験なしと判定した。反対に、教室でのテレビ学習の経験あり（0群）と判定した基準は、小学校の場合、週1回以上、「社会科」をふくむ2教科以上を5年と6年のときに経験したもの。これらをテレビ学習の経験ありと見做した。中学校の場合の判定基準は、テレビ学習が小学校とくらべて相対的に少ないために、1科目を「ときどきやっている」程度では経験ありとは見做さなかったが、1科目でも「毎週1回」やっていたら、継続視聴、経験ありと見做すことにした。この基準にしたがって、調査対象2,160名をつぎの4つに分類した。

××群……小学校でも中学校でも経験なし。

○×群……小学校でも中学校でも経験あり。

×○群……小学校では経験ないが中学校でやっている。

○×群……小学校で経験あるが中学校ではやっていない。

このうちから、ここで分析するのは、××群（テレビ学習非利用群）265名と○×群（テレビ学習利用群）229名である。分析対象群の構成はつぎの通りである。

第1表 地域別構成

群	地域別	広島	京都	大阪	大津	計
非利用群	××群率	55 (20.8)	116 (43.8)	0 (0)	94 (35.5)	265 (100.0%)
利用群	○×群率	52 (22.7)	109 (47.6)	62 (27.1)	6 (2.6)	229 (100.0%)

第2表 学年別構成

群別	学年別	1年生	2年生	3年生	計
非利用群		70 (26.4)	103 (38.9)	92 (34.7)	265人 (100.0%)
利用群		97 (42.4)	76 (33.2)	56 (24.5)	229人 (100.0%)

第3表 性別構成

群別	性別	男	女	計
非利用群		151 (57.0)	114 (43.0)	265 (100.0%)
利用群		122 (53.3)	107 (46.7)	229 (100.0%)

第4表 学力程度別構成

群	評価段階	5	4	3	2	1	不明	計
非利用群		29 (10.9)	56 (21.1)	101 (38.1)	55 (20.8)	20 (7.5)	4 (1.5)	265 (100.0%)
利用群		20 (8.7)	52 (22.9)	109 (47.6)	31 (13.5)	14 (6.1)	3 (1.3)	229 (100.0%)

## 5. 調査結果および考察

仮説Aで述べたように、学校でテレビ学習の経験のある者（利用群）は、非利用群にくらべて、テレビに対する接触行動や意識に、何らかの違いがあると仮定し、それを実証する手懸りとして、家庭でのテレビ視聴量および番組の内容からみた視聴傾向をみることにした。視聴時間量の結果はつぎの第5表の通りである。両群とも1時間以上、2時間以上、3時間以上に集中しており、両群間には、視聴時間に関しては、有意の差は認められなかった。また、「よくみる」番組数についても両群間に差は認められない。非利用群、利用群それぞれ、「5本以下」が163人（61.5%）、129人（56.3%）、「6本から10本」よくみる番組が

あると答えたものが、93人(35.1%)、86人(37.6%)であり、「11本から15本」みるものが9人(3.4%)、12人(5.2%)であった。利用群に「16本から20本」よくみる番組があると答えたものが、2人(0.9%)いたが、全体的に両群間に有意の差はみとめられなかった。すなわち、テレビに対する視聴行動の量的側面に関しては、学校でテレビ学習の経験のある者とそうでない者との間には何んらの相異を見出すことはできないのである。

第五表  
視聴時間量

群 別	非 利 用 群		利 用 群	
	f	%	f	%
(1) ほとんどみない	4	(1.5)	3	(1.3)
(2) 30分以下	4	(1.5)	4	(1.7)
(3) 30分以上	21	(7.9)	10	(4.4)
(4) 1時間以上	61	(23.0)	40	(17.5)
(5) 2時間以上	88	(33.2)	78	(34.1)
(6) 3時間以上	69	(26.0)	70	(30.6)
(7) 4時間以上	17	(6.4)	22	(9.6)
(8) D.K(無答)	1	(0.4)	2	(0.9)
N	265(100.0%)		229(100.0%)	

$\chi^2=7.2 \quad p>0.30$

それでは、家庭での視聴番組の内容からみて、両群はどのような嗜好傾向を示すか。各地域で共通に見られ、また各ジャンルからそれぞれ選び出した30番組について、両群の嗜好度をしらべてみた。30番組中有意差のあるものは、つぎの5番組である。(30番組すべてについての両群の嗜好傾向は、最後のページ参照)

第6表 番組の嗜好傾向

番 組 名	非 利 用 群						利 用 群					
	よくみる		ときどきみる		みない		よくみる		ときどきみる		みない	
	f	%	f	%	f	%	f	%	f	%	f	%
1. ニュースコープ	39	14.7	105	39.6	121	45.7	38	16.6	115	50.2	76	33.2
2. コント55号裏番組をブツとばせ	108	40.8	86	32.5	71	26.8	117	51.1	68	29.7	44	19.2
3. TBS歌のグランプリ	63	23.8	110	41.5	92	34.7	80	34.9	78	34.1	71	31.0
4. 肝っ玉かあさん	66	24.9	73	27.5	126	47.5	79	34.5	76	33.2	74	32.3
5. 愛ある限り	6	2.3	37	14.0	222	83.8	19	8.3	49	21.4	161	70.3

- (番組1)  $\chi^2=8.12 \quad p<0.02$
- (番組2)  $\chi^2=6.19 \quad p<0.05$
- (番組3)  $\chi^2=7.60 \quad p<0.05$
- (番組4)  $\chi^2=12.18 \quad p<0.001$
- (番組5)  $\chi^2=15.60 \quad p<0.001$

この結果からすると、学校でのテレビ学習の経験のある者が「ニュースコープ」に代表される教養番組的なものを見ているものが、多いといえる。しかしまた、利用群は非利用群にくらべて、「コント55号裏番組をブツとばせ」に代表される大衆文化的娯楽番組を嗜好する

傾向もうかがえる。だから、学校の授業でテレビ学習をやった者が、家庭でのテレビ視聴においても、学校文化的教養番組を嗜好するようになるとは、いちがいにいえないようである。

つぎに仮説Bの検討に入ろう。テレビに対する意識を因子分析法を用いて、知的因子と感情的因子（情緒的）に分けて、利用群と非利用群の意識・態度のちがいをみたのが、つぎの第7表である。なお、それぞれの因子を構成する質問項目番号の内容は、最後に1括して記しておいた。表中の+2, +1, -1, -2は質問項目に対する反応度（リッカート法による）を示しており、つぎの❖要領で得点化してある。

第7表 テレビに対する意識

(a) 知的尺度 (%)

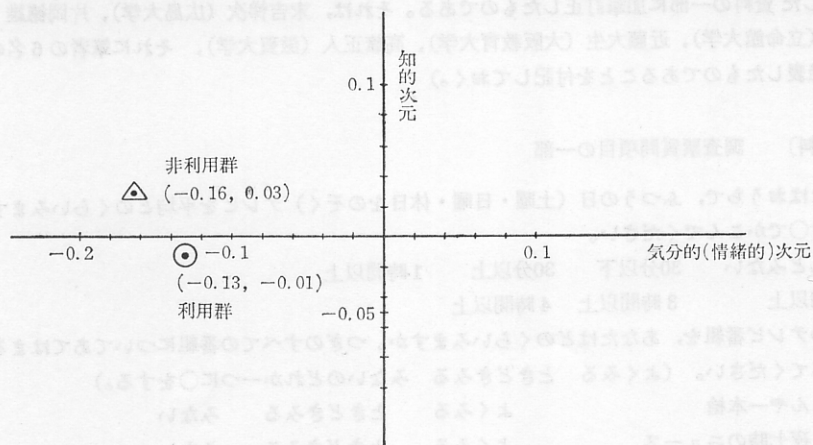
質問項目番号	非 利 用 群 n=265				利 用 群 n=229			
	+ 2	+ 1	- 1	- 2	+ 2	+ 1	- 1	- 2
1	9	41	33	17	7	45	37	12
3	48	41	10	1	38	45	13	4
5	18	33	35	14	16	36	31	16
7	19	49	23	9	20	48	23	10
13	2	12	37	50	4	23	39	35
15	13	32	35	20	14	39	24	23
19	11	34	39	16	10	31	44	15
25	7	28	43	21	6	27	49	19
27	8	33	35	25	6	31	40	23
33	28	46	22	4	22	44	28	6
35	28	45	23	4	22	47	26	5
36	5	26	49	9	5	29	51	15

(b) 情緒的尺度 (%)

質問項目番号	非 利 用 群 $n=265$				利 用 群 $n=229$			
	+2	+1	-1	-2	+2	+1	-1	-2
2	45	22	24	9	44	27	23	7
4	12	19	39	31	12	19	39	30
8	9	14	40	37	10	18	40	32
10	6	17	45	31	7	21	41	31
12	1	13	51	35	2	10	39	49
14	38	35	17	10	38	29	24	8
16	30	38	26	6	28	41	23	8
18	2	23	53	22	4	21	48	27
26	11	31	29	29	13	41	28	18
28	22	34	33	12	18	28	44	11
32	33	37	21	9	26	32	31	11

- ※ ひじょうにそう思う, いつもよくそうしている人……………+2  
 { すこしそう思う, ときどきそうする人……………+1  
 { あまりそう思わない, あまりそうしない人……………-1  
 { まったくそう思わない, まったくそうしない人……………-2

以上の結果を両群の態度平均値として図でしめたのが, 第2図である。この図からから明

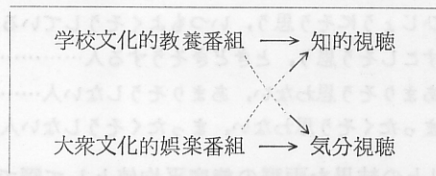


らかなように、非利用群の方が利用群よりもテレビ番組を知的な活動に発展させるような見方をしている者（知的視聴型）が多い。学校でのテレビ学習の経験のある利用群は、非利用群にくらべて、気分的にみる情緒視聴型が若干多いことがうかがえる。しかし全体的傾向としては、強いていえば、無関心型が多いといえよう。すなわち、テレビ番組を知的な活動に発展させるような見方をするでもなく、面白くて、感動して見るというでもなく、何んとなくテレビを見るといった、なれあい傾向のあることがうかがえる。

われわれが最初にたてた仮説とは全く逆の結果である。学校でのテレビ学習経験の有無によって、家庭での視聴行動やテレビに対する意識にちがいがあるといふ仮説はくつがえされている。すなわち、学校でのテレビ学習の経験のある者の方がそうでない者よりも、教養番組的なものをより多く視聴し、家庭での一般番組の視聴態度においても、知的な活動を発展させるような態度をとるであろうという仮説はくつがえされたのである。これは何によるのか。学校放送利用の教育に問題があるか、あるいは、われわれの調査方法に結果があるのか。さらに追試を必要とするところである。

また、テレビにたいする接触という点にしばれば、教室でのテレビ視聴量よりも、家庭でのそれが圧倒的に多い。教室でのテレビ視聴量は多くても1週間に2～3時間であるのにたいして家庭でのテレビ視聴時間は1日に1時間以上、2時間以上、3時間以上が殆んどであった。したがって、家庭での一般番組視聴の多少と、われわれのたてた仮説との関連もみていく必要がある。あるいは、テレビにたいする意識（気分的視聴か知的視聴か）と、実際の視聴行動（どういう種類の番組をよくみているか）との関連をおさえておくことも必要であろう。この点に関しての従来の一般的なとらえ方としては、学校では教育番組を知的活動として視聴し（家庭でみる教養番組にたいしても同じ）、大衆文化型の娯楽番組にたいしては気分的な視聴態度が家庭ではとられているとみる傾向が強かった。しかし、この両者は平行線をたどるだけでなく、交叉する可能性も

第3図



じゅうぶんあるのではないか。また、テレビ教育は、この可能性をこそ追求すべきではないかだろうか。（第3図）

（注、本研究は昭和44年10月11日第21回日本教育社会学会課題研究「テレビ学習の構造」というテーマで発表した資料の一部に加筆訂正したものである。それは、末吉悌次（広島大学）、片岡徳雄（広島大学）、森林（立命館大学）、近藤大生（大阪教育大学）、高旗正人（滋賀大学）、それに筆者の6名の共同研究として発表したものであることを付記しておく。）

〔参考資料〕 調査票質問項目の一部

- (3) あなたはおうちで、ふつうの日（土曜・日曜・休日をのぞく）テレビを平均どのくらいみますか。  
1つだけ○でかこんでください。  
ほとんどみない    30分以下    30分以上    1時間以上  
2時間以上    3時間以上    4時間以上
- (4) つぎのテレビ番組を、あなたはどのくらいみますか。つぎのすべての番組についてあてはまるところに○をしてください。（よくみる    ときどきみる    みないのどれか一つに○をする。）  
てなもんや一本槍    よくみる    ときどきみる    みない  
NHK夜七時のニュース    よくみる    ときどきみる    みない

キックボクシング	よくみる	ときどきみる	みない
ニュースコープ	よくみる	ときどきみる	みない
お笑いカラー寄席	よくみる	ときどきみる	みない
ニュースの焦点	よくみる	ときどきみる	みない
ランニングクイズ	よくみる	ときどきみる	みない
時の動き	よくみる	ときどきみる	みない
コント55号うら番組をブツ飛ばせ	よくみる	ときどきみる	みない
スタジオ102	よくみる	ときどきみる	みない
ジャポン玉ホリデー	よくみる	ときどきみる	みない
生活の知恵	よくみる	ときどきみる	みない
TBS歌のグランプリ	よくみる	ときどきみる	みない
20世紀アワー	よくみる	ときどきみる	みない
ミュージックフェア'69	よくみる	ときどきみる	みない
現代の映像	よくみる	ときどきみる	みない
巨人の星	よくみる	ときどきみる	みない
NHKコンサートホール	よくみる	ときどきみる	みない
忍風カムイ外伝	よくみる	ときどきみる	みない
みんなの科学	よくみる	ときどきみる	みない
ザ・ガードマン	よくみる	ときどきみる	みない
新日本紀行	よくみる	ときどきみる	みない
素浪人花山大吉	よくみる	ときどきみる	みない
NHK特派員報告	よくみる	ときどきみる	みない
天と地と	よくみる	ときどきみる	みない
兼高かほるの世界の旅	よくみる	ときどきみる	みない
あひるの学校	よくみる	ときどきみる	みない
中学生群像	よくみる	ときどきみる	みない
肝っ玉かあさん	よくみる	ときどきみる	みない
愛ある限り	よくみる	ときどきみる	みない

(5) つぎの質問は、家でみるテレビに対するあなたの考えや感じをきくものです。あまり深く考えないで、あなたの考えや感じにいちばん近いものに、どんどん○をつけてください。

(こたえ方) つぎの文について

ひじょうにそう思う、いつもよくそうしている人……………+2	}に○をしてください。
すこしそう思う、ときどきそうする人……………+1	
あまりそう思わない、あまりそうしない人……………-1	
まったくそう思わない、まったくそうしない人……………-2	

- |                               |    |    |    |    |
|-------------------------------|----|----|----|----|
| 1. テレビをみたことについて家の人と話し合うことがある  | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 2. 一日に一度はテレビをみないとものたりない       | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 3. テレビをみると世の中の新しい動きを知ることができる  | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 4. 気分がクシャクシャしているときはテレビをみる     | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 5. テレビはいい番組だけを選んでみるようにしている    | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 6. テレビタレントのようなすてきな服を着てみたい     | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 7. テレビドラマから人間の生き方について学ぶことができる | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 8. 一日中何もしないでテレビをみていたい         | +2 | +1 | -1 | -2 |



- |                                       |    |    |    |    |
|---------------------------------------|----|----|----|----|
| 9. テレビでみたことをじぶんの家庭とくらべて考えることがある       | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 10. テレビをみると一日中のいやなことを忘れてしまう           | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 11. テレビで世の中の悪い面を知ることができる              | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 12. テレビは友だちみたいにわたしをなぐさめてくれる           | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 13. 家でも教育テレビを利用して勉強している               | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 14. テレビがなかったら毎日がつまらないと思う              | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 15. テレビドラマなどをみて、それに関する本を読む気になることがある。  | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 16. ひまがあればなんとなくテレビをみていたい              | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 17. 家でみたテレビについてなにかに（たとえば日記などに）書くことがある | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 18. テレビをみるとすかーっとしたいい気分になる             | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 19. 家でみるテレビも勉強に欠かせないものだ               | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 20. テレビをみるといろいろなものがほしくなる              | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 21. テレビはいい番組を選んでみないと害になる              | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 22. テレビドラマに出てくるようなすてきな家に住んでみたいと思う     | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 23. 家でみたテレビについて友だちと話し合うことがある          | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 24. テレビをみているとじぶんもテレビにでてみたくなる          | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 25. もっと勉強に役に立つテレビ番組をふやしてほしい           | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 26. テレビを見ながらいっしょに歌ったり、からだを動かしたりする     | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 27. テレビで見たことを本や辞典でしらべてみようと思うことがある     | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 28. 家でみるテレビは楽しむもので、勉強とは関係ない           | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 29. 娯楽番組にも学校では得られないものがある              | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 30. テレビをみると楽しくなる                      | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 31. 家でみるテレビには勉強に役に立つものは少ない            | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 32. テレビをみだすとなかなかやめられない                | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 33. テレビは知識を豊かにしてくれる                   | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 34. テレビドラマをみていると、主人公になったような気がする       | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 35. テレビによっていろいろ考えられることが多い             | +2 | +1 | -1 | -2 |
| 36. 学校の勉強に関係ある番組は、できるだけみることにしている。     | +2 | +1 | -1 | -2 |

視 聴 番 組

	××群 (小学校・中学校共に経験なし)						○○群 (小学校・中学校共に経験あり)					
	よくみる		ときどきみる		みない		よくみる		ときどきみる		みない	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
てなもんや一本槍	44	16.6	92	34.7	129	48.7	37	16.2	87	38.0	105	45.9
NHK夜七時のニュース	32	12.1	122	46.0	111	41.9	28	12.2	110	48.0	91	39.7
キックボクシング	48	18.1	104	39.0	113	42.6	40	17.5	73	31.9	116	50.7
ニュースコープ	39	14.7	105	39.6	121	45.7	38	16.6	115	50.2	76	33.2
お笑いカラー寄席	22	8.3	117	44.2	126	47.5	34	14.8	94	41.0	101	44.1
ニュースの焦点	12	4.5	76	28.7	177	66.8	14	6.1	80	34.9	135	59.0
ランニングクイズ	24	9.1	49	18.5	192	72.5	35	15.3	43	18.8	151	65.9
時の動き	10	3.8	55	20.8	200	75.5	5	2.2	61	26.6	163	71.2
コント55号うら番組をブツ飛ばせ	108	40.8	86	32.5	71	26.8	117	51.1	68	29.7	44	19.2
スタジス102	57	21.5	79	29.8	129	48.7	59	25.8	63	27.5	107	46.7
シャボン玉ホリデー	79	29.8	76	28.7	110	41.5	72	31.4	69	30.1	88	38.4
生活の知恵	23	8.7	66	24.9	176	66.4	12	5.2	69	30.1	148	64.6
TBS歌のグランプリ	63	23.8	110	41.5	92	34.7	80	34.9	78	34.1	71	31.0
20世紀アワー	7	2.6	38	14.3	220	83.0	9	3.9	41	17.9	179	78.2
ミュージックフェア'69	17	6.4	107	40.4	141	53.2	22	9.6	73	31.9	134	58.6
現代の映像	16	6.0	71	26.8	178	67.2	12	5.2	66	28.8	151	65.9
巨人の星	172	64.9	53	20.0	40	15.1	154	67.2	40	17.5	35	15.3
NHKコンサートホール	12	4.5	42	15.8	211	79.6	5	2.2	37	16.2	187	81.7
忍風カムイ外伝	58	21.9	67	25.3	140	52.8	58	25.3	47	20.5	124	54.1
みんなの科学	13	4.9	65	24.5	187	70.6	17	7.4	55	24.0	157	68.5
ザ・ガドマン	125	47.2	91	34.3	49	18.5	110	48.0	91	39.7	28	12.2
新日本紀行	22	8.3	82	30.9	161	60.8	17	7.4	81	35.4	131	57.2
素浪人花山大吉	43	16.2	70	26.4	152	57.4	29	12.7	72	31.4	128	55.9
NHK特派員報告	23	8.7	82	30.9	160	60.4	19	8.3	68	35.8	142	62.0
天と地と	84	31.7	63	23.8	118	44.5	57	24.9	68	29.7	104	45.4
兼高かほる世界の旅	49	18.5	78	29.4	138	52.1	51	22.3	70	30.6	108	47.2
あひるの学校	31	11.7	52	19.6	182	68.7	27	11.8	43	18.8	159	69.4
中学生群像	24	9.1	47	17.7	194	73.2	22	9.6	32	14.0	175	76.4
肝っ玉かあさん	66	24.9	73	27.5	126	47.5	79	34.5	76	33.2	74	32.3
愛ある限り	6	2.3	37	14.0	222	83.8	19	8.3	49	21.4	161	70.3

テレビ意識

質問項目 (5)の番号	× × 群 (非利用群)								○ ○ 群 (利用群)							
	+ 2		+ 1		- 1		- 2		+ 2		+ 1		- 1		- 2	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
1	23	8.7	108	40.8	88	33.2	46	17.4	15	6.6	102	44.5	84	36.7	28	12.2
2	120	45.3	57	21.5	63	23.8	25	9.4	100	43.7	61	26.6	53	23.1	15	6.6
3	126	47.5	109	41.1	26	9.8	4	1.5	88	38.4	104	45.4	29	12.7	8	3.5
4	31	11.7	49	18.5	102	38.5	83	31.3	28	12.2	44	19.2	89	38.9	68	29.7
5	47	17.7	86	32.5	94	35.5	38	14.3	37	16.2	83	36.2	72	31.4	37	16.2
6	21	7.9	46	17.4	78	29.4	120	45.3	22	9.6	47	20.5	79	34.5	81	35.4
7	51	19.2	129	48.7	60	22.6	25	9.4	45	19.7	109	47.6	53	23.1	22	9.6
8	25	9.4	38	14.3	105	39.6	97	36.6	22	9.6	41	17.9	92	40.2	74	32.3
9	34	12.8	125	47.2	67	25.3	39	14.7	39	17.0	107	46.7	62	27.1	21	9.2
10	17	6.4	45	17.0	120	45.3	83	31.3	16	7.0	48	21.0	93	40.6	72	31.4
11	68	25.7	135	50.9	47	17.7	15	5.7	73	31.9	98	42.8	40	17.5	18	7.9
12	2	0.8	33	12.5	136	51.3	94	35.5	4	1.7	23	10.0	89	38.9	113	49.3
13	5	1.9	31	11.7	97	36.6	132	49.8	8	3.5	52	22.7	89	38.9	80	34.9
14	101	38.1	93	35.1	44	16.6	27	10.2	88	38.4	67	29.3	55	24.0	19	8.3
15	34	12.8	84	31.7	93	35.1	54	20.4	33	14.4	89	38.9	55	24.0	52	22.7
16	79	29.8	101	38.1	68	25.7	17	6.4	64	27.9	94	41.0	52	22.7	19	8.3
17	10	3.8	36	13.6	59	22.3	165	62.3	8	3.5	26	11.4	48	21.0	147	64.2
18	6	2.3	60	22.6	141	53.2	58	21.9	9	3.9	49	21.4	109	47.6	62	27.1
19	30	11.3	89	33.6	104	39.2	42	15.8	23	10.0	71	31.0	101	44.1	34	14.8
20	38	14.3	84	31.7	92	34.7	51	19.2	42	18.3	66	28.8	73	31.9	48	21.0
21	31	11.7	72	27.2	107	40.4	55	20.8	25	10.9	65	28.4	80	34.9	59	25.8
22	57	21.5	86	32.5	65	24.5	57	21.5	50	21.8	71	31.0	71	31.0	37	16.2
23	100	37.7	126	47.5	30	11.3	9	3.4	64	27.9	123	53.7	29	12.7	13	5.7
24	25	9.4	58	21.9	81	30.6	101	38.1	23	10.0	54	23.6	83	36.2	69	30.1
25	18	6.8	73	27.5	119	43.4	55	20.8	13	5.7	61	26.6	111	48.5	44	19.2
26	29	10.9	81	30.6	78	29.4	77	29.1	30	13.1	94	41.0	64	27.9	41	17.9
27	21	7.9	86	32.5	92	34.7	66	24.9	14	6.1	71	31.0	92	40.2	52	22.7
28	58	21.9	89	33.6	86	32.5	32	12.1	41	17.9	63	27.5	100	43.7	25	10.9
29	93	35.1	121	45.7	45	17.0	6	2.3	87	38.0	98	42.8	36	15.7	8	3.5
30	64	24.2	142	53.6	49	18.5	10	3.8	72	31.4	101	44.1	52	22.7	4	1.7
31	39	14.7	95	35.8	106	40.0	25	9.4	24	10.5	72	31.4	100	43.7	33	14.4
32	88	33.2	98	37.0	55	20.8	24	9.1	59	25.8	74	32.3	72	31.4	24	10.6
33	74	27.9	122	46.0	58	21.9	11	4.2	50	21.8	101	44.1	64	27.9	14	6.1
34	24	9.1	58	21.9	109	41.1	74	27.9	18	7.9	60	26.2	86	37.6	65	28.4
35	75	28.3	118	44.5	60	22.6	12	4.5	51	22.3	108	47.2	59	25.8	11	4.8
36	14	5.3	68	25.7	130	49.1	23	8.7	11	4.8	66	28.8	117	51.1	35	15.3

# 研 究 紀 要

創 刊 号

高 松 短 期 大 学